ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

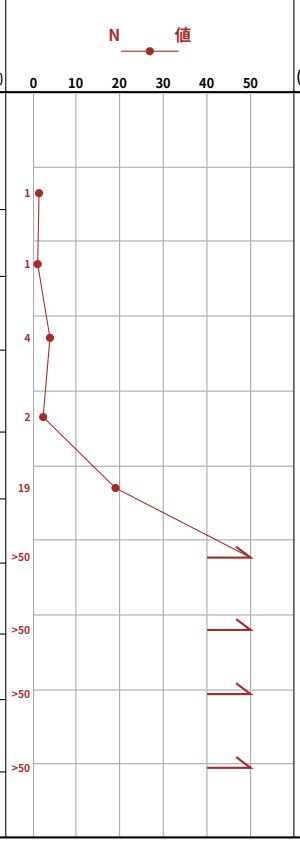
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-No.2(測点No.93+14.0 R9.0)	調査位置				北　緯	36 ° 45 ' 50.0000 "
発 注 機 関	栃木県烏山土木事務所			調査期間	2009-01-16 ～ 2009-01-19	東　経	140 ° 08 ' 55.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	129.35 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	9.10 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1					礫混じりシルト (M-G)	黒褐～暗褐		非常に軟らかい	上部,有機臭を伴う 未分解の腐植物,礫混じり砂混じる 2.7m付近まで含水多く,極軟弱である 2.7m以深は含水中位となり孔壁の自立性は高い 3.2～3.35m間は砂および礫の混入が多い 3.7～3.8m間に風化凝灰岩片点在する 3.75m以深,φ5～10mmの凝灰岩の岩片混じる		▽
2											
3											
4											
5	124.10	5.25	5.25								
6					凝灰岩 (Tf)	淡緑灰			上部は風化顕著で砂状を呈す 白灰色の軽石多く含む粗粒凝灰岩 岩質は脆く軟質である 所々に泥質岩片混じる コアは概ね柱状を呈す		
7											
8											
9	120.25	3.85	9.10								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／20	1／22		2／42	1
1.57					
2.15	1／32			1／32	1
2.47					
3.15	1／8	2／13	1	4／31	4
3.46					
4.15	1／12	1／13	1／15	3／40	2
4.55					
5.15	3	7	9	19／30	19
5.45					
6.15	22	28／5		50／15	>50
6.30					
7.15	50			50／10	>50
7.25					
8.00	42	8／3		50／13	>50
8.13					
9.00	50			50／10	>50
9.10					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
2.00	2	㊀	物理試験	
3.00				
				01/17
				01/19